

ADDRESS VOICE



発行55回記念号

早歩き 亀 第9回 TTL制作部 亀村

誕プレに込めた思い

年明けに誕生日を迎えた小2の娘のプレゼントに、3冊の図鑑を選びました。タイトルはシンプルに「動物」と「植物」と「人間」です。

特に彼女が欲しいと言ったわけではなく、「動物」「植物」に関しては彼女が絵を描く題材になればと思い、「人間」に関しては最近「はたらく細胞」の映画を観て体内のことに興味を持ち始めたからという他愛もない理由です。

最近の図鑑はビジュアル的に迫力があり、興味のある項目から読める構成になっていて、大人でも十分に楽しめます。娘へのプレゼントではあるのですが、私の方が童心に返ってページをめくっています。

近頃はまちなかから書店が姿を消しつつあり、ふらっと寄り先で思いがけずこの本が読みたいと思う機会が減っているのは寂しい限りです。娘には、指1本でお気に入りの動画を見つけるのもいいですが、ページをめくるのを楽しんで、自分でいろんな扉を開けてほしいと思っています。

私はこのコラムを、とある書店のシェアラウンジで書いています。私のようにパソコンを開く人もいれば、書店から好きな本を購入不要で持ち込み、飲み物片手に読書にふける人などさまざまです。ここにも本との新しい向き合い方があり、こうしたスペースはこれから増えそうです。アナログな知との出会いは今も捨てたものではないと思います。今回の誕生日プレゼントにはそんな思いを込めてあるのですが、果たして娘の心にどれだけ響くやら。状況をそっと見守りたいと思います。

代打の送りバント 営業部 小池

カモシカと出会う

先日、低山の林道を車で進んでいるとカモシカに出会いました。カモシカは、正確にはニホンカモシカという日本固有種であり、シカとは言いながら偶蹄類に分類されますので、むしろウシに近い動物です。出会ったのは林道に入って500メートルくらいの、住宅地からもさほど離れておらず、会社からも遠くない場所です。ウシに近いのか、カモシカはおっとり型で好奇心の強い性格であるため、車が迫ってきても林道の真ん中でこちらを向いたまま微動だにしません。残念ながらこの日は写真を撮ろうとすると去っていきましたが、そんな調子ですので捕獲も難しくないので、昔からのんびりした知性の低いケモノだと馬鹿にされてきたそうです。

それにしても昔は雪山の山稜で見かけた動物がこんな人里近くに現れるのは珍しいなと思ったのですが、そうでもなく、近年は全国的に頭数が増えて生息地が広がった結果、人里まで下りてくる個体も珍しくないそうです。頭数が増えた理由は天敵の減少や人による保護の状況などもあるのですが、これも気候変動の影響かと思わないでもありません。そう漠然と考えていると、地球温暖化の危機が猛スピードで迫っているにもかかわらず、人間こそ悠長に構えているのかもしれないという思いがふとよぎります。カモシカが悠長に構えるのは急発進して斜面を駆け上がる脚力があるためですが、人間というケモノにその脚力は備わっているのでしょうか。



中村記念美術館 (2025年2月撮影)

ぶくぶく通信

代表取締役 中山雅美



居心地の悪い日々がずっと続いている。何か確かな実体のないものを抱きしめようとしているような、うつろに繰り返される日々がわたしを占領しているような「つまらなさ」があって仕方がないのだが、ようやくその正体が分かりかけた。

還暦も過ぎれば友人が亡くなることはそう珍しいことではないかもしれないが、グループチャット・SNSによる訃報からは、悲しみをストレートに受け止め損ね、整理し切れなかったんだろう。ペットも火葬しその骨を拾う儀式で死を受容できるのだ。遺族の肩を抱いてわんわん泣かなきゃだめだったんだ。

コロナが終わり、地震が来た。1年前の北陸には珍しい快晴の元旦の昼過ぎに、それはやってきた。今でも会社のある金沢市に隣接する内灘町に一步踏み入れると、傾いた家屋、電柱、走りにくい道に出合うし、金沢の街にも傷が治らずに残っている。

だけど、おかげさまでアドレスは元気になっています。そして、ここ何日か金沢は県外の方が期待する雪国の体です。

昨日雪について出かけた能美市界限には大きな立派なつららが軒並みつらなって、お日様を跳ね返していました。

この雪がとけ、確実にやってくる春にはまた、ふきのとうのように頑張りますね。

Why?

アドレス
ADDRESS.Corp

世の中にテープおこし(文字おこし)の会社は多いのに
は、どうして30年間も支持され
続けているの?



その理由1

Start!

当初より品質重視の方針を固め、知識やノウハウを一生懸命に蓄えて、**精度の高い成果物**を提供したから

以前からアドレスでは一人一人がバラバラに仕事するのではなく、いつもチームで仕事に当たるため、知識が共有されやすく、引き継がれ、蓄積しやすかったのです。



そうすると...

その理由2

お客様のいろいろなリクエストに応じていく中で、サマリーなどの様々な**商品バリエーション**をつくったから

ご要望に応じ、速報を作成するミニッツライティングやパワーポイントのスライドを文書に挿入する方式も開発しました。また、様々なサマリー文書を作成したり、通訳の発言を読みやすい文章にするノウハウも身につけています。



そして、さらに

その理由3

専門性の高い会議内容についても**高い精度**で再現し、なおかつ、雑駁になりがちな「話し言葉」を**様々なニーズにフィット**させる制作法を確立し、サービスを**コンスタント**に提供しているため

業界が価格競争から「漫然と片付けるだけのただの文字化」に陥りがちなところ、アドレスは、逆に精度を上げた成果物を提供し続け、業界の中でもスペシャルな存在となりました。そして、そうした存在であり続けるために、日々組織として、チーム・アドレスとしてお客様に伴走するように心がけています。

Fin そして
Continue!



たとえば

アドレスのここ！ 「これ」「ここ」などの指示語の処理

パワーポイントを利用するプレゼンでは、スライド上の言葉や図、グラフを指して「ここ」「これ」と指示語で表現されることが少なくありませんが、この指示語を文字化してもあまり意味がありません。

アドレスでは、「これ」などという指示語の代わりに、**それが指しているもの(こと)に書き換えて文章化**することも行っています。どうしても断定できないケースもちろんありますが、特に「サマリー(要約)仕様」をご利用いただく場合には標準的な仕様となります。

オフィシャルブログにもアドレスならではのサービスが紹介されています。

